

国際協力事業団

ブラジル国
アマゾナス州農牧業開発院

ブラジル国
アマゾナス州環境調和型
地域住民生計向上計画調査

要 約

2002年2月

日本工営株式会社

農調農
JR
02-05

報告書リスト

和文報告書

要約

主報告書

英文報告書

要約

主報告書

ポルトガル文報告書

要約

主報告書

換算レート(2001年10月)

US \$ 1.00 = R\$ 2.699 = J¥ 122.441

(US \$ = アメリカ・ドル、R\$ = ブラジル・ヘアル、J¥ = 日本円)



調査対象地域位置図

ブラジル国
アマゾナス州環境調和型地域住民生計向上計画調査

要 約

目 次

調査地域位置図

頁

1.	はじめに.....	S - 1
2.	州および地域社会経済の現況.....	S - 1
2.1	アマゾナス州の社会経済の現況.....	S - 1
2.2	調査対象地域の社会経済の現況.....	S - 1
2.3	参加型調査の内容	S - 2
2.3.1	農村社会調査の概要.....	S - 2
2.3.2	ワークショップの開催.....	S - 2
2.4	農村社会.....	S - 2
2.4.1	農村社会の現況	S - 2
2.4.2	農民組織の現状	S - 3
2.4.3	農家の生計状態	S - 3
2.5	融資（資金援助）に関する公的支援計画.....	S - 5
2.6	開発プログラム	S - 5
3.	自然条件.....	S - 5
3.1	土地の特徴.....	S - 5
3.2	土壤と農業.....	S - 6
3.3	環境条件.....	S - 6
3.3.1	エコロジー、動物、植物.....	S - 6
3.3.2	自然公園および保護区.....	S - 6
3.3.3	森林伐採	S - 6
3.3.4	原住民	S - 6
4.	環境組織と関連する法律	S - 6
4.1	EIA の手順	S - 6
4.2	環境認可システム	S - 6
4.3	関連するプロジェクトおよびプログラム	S - 7
4.3.1	PPG7 のサブプログラム	S - 7

4.3.2	PGAI プロジェクト	S - 7
5.	ガラナ	S - 7
5.1	調査対象地域のガラナ生産の現況	S - 7
5.2	ガラナの加工と流通	S - 7
5.3	ガラナ開発の課題	S - 8
6.	熱帯果樹	S - 8
6.1	調査対象地域の熱帯果樹生産の現況	S - 8
6.2	調査対象地域の熱帯果樹の加工と流通	S - 9
6.3	熱帯果樹開発の阻害要因と問題点	S - 9
7.	野菜	S - 9
7.1	調査対象地域の野菜生産の現況	S - 9
7.2	調査対象地域の野菜の流通	S - 10
7.3	野菜生産開発の阻害要因と問題点	S - 10
8.	漁業	S - 10
8.1	調査対象地域の漁業の現況	S - 10
8.2	養殖活動の現況	S - 11
8.3	漁業に関する問題点	S - 11
8.4	養殖対象種の選定	S - 11
9.	市場流通	S - 11
9.1	ガラナの流通	S - 12
9.2	野菜の流通	S - 12
9.3	果物の流通	S - 13
9.4	作物別の市場分析	S - 13
10.	支援機関 (IDAM) の能力および活動状況	S - 14
11.	ロジカル・フレーム・アプローチおよび分析検討	S - 14
12.	目的分析	S - 15
13.	開発戦略および計画の基本構想	S - 16
14.	受益者の推定	S - 16
15.	プロジェクト・デザイン・マトリクス	S - 16

16.	事業実施計画	S - 18
16.1	事業実施期間	S - 18
16.2	事業実施機関 (IDAM) の能力開発と実施能力の強化	S - 18
16.3	農民組織の強化	S - 19
16.4	ガラナ	S - 20
16.5	野菜	S - 21
	16.5.1　野菜栽培改善計画の開発の方向性と期別目標	S - 21
	16.5.2　野菜栽培改善のための戦略と計画	S - 21
16.6	熱帯果樹	S - 23
16.7	養殖	S - 24
16.8	加工、流通およびマーケティング	S - 25
	16.8.1　基本計画	S - 25
16.9	環境	S - 28
16.10	事業費用	S - 29
17	総論	S - 30
18.	本事業の推定受益者	S - 30
19.	提言	S - 31

換算レート(2001年10月)

US \$ 1.00 = R\$ 2.699 = J¥ 122.441
 (US \$ = アメリカ・ドル、R\$ = ブラジル・ヘアル、J¥ = 日本円)